



第54回 全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会

2015年5月31日(日) 埼玉県利根川上流 南側(総距離62.4km)

主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催: (公財)日本自転車競技連盟 (一社)埼玉県自転車競技連盟
協賛: 公益財団法人 JKA 社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
株式会社パールイズミ ブリヂストンサイクル株式会社 セイコータイムシステム株式会社
後援: 加須市 加須市教育委員会 羽生市 羽生市教育委員会



Communiqué.03

2015年5月24日

チーフコミッセル 荒井 純一

1. オートバイからの機材補給について

- 前年の上位8チームは随行審判オートバイにスペア前後輪1ペアを積むことができる。
- 搭載を希望する該当チームは11時までにスタート地点に持参のこと。
- レース中に車輪交換を希望する場合、選手は手を上げて随行審判オートバイに知らせた上で道路左路肩に完全に停止し、ホイールキャリアからの車輪の取り出し、交換等を自らの責任において行うこと。

2. レース中の車両走行について

- 道路幅員が狭い為、四輪車は原則走行出来ません。(救護車等が走る場合があります)
- チームカーの伴走は出来ません。
- 違反行為の観察はモータバイク審判員が適宜走行して行ないます。

3. チームピット(飲食料・器材サポートエリア)ならびに補給

- 下流側折返し地点近傍コース南側、下流側よりスタート順に従い各チームのテント設置を認める。
- チームピットエリアの幅は1チームあたり4m以内とする。
- 荷物の積み下ろし時には、車両をチームピットに乗り入れて行うこと。コース上に駐停車することは厳に禁ずる。
- 荷物の積み下ろしが終わったら、速やかに車両を指定の駐車場に移動すること。
- レース中にピットエリアに駐車することは認められない。
- 原則として、ピットの撤収のための車の移動は閉会式後とする。それ以前のピットへの車の移動は認めない。
- チームピットエリアにテントを設営する場合、地面を痛めるベグ等の使用は認められない。
- このチームピットエリアにおいてのみ、毎週回飲食料の補給を認める。
- 最も下流側・折返地点直近は共用補給エリアとし、折返中チームの ID カード所持者(各チーム4枚迄)のみ立入可とする。
- 競技中の選手は、共用補給エリアおよびチームに指定された飲食料・器材サポートエリア内においてチームメートに拾われることを前提とする場合のみ、ボトル、食料、包装紙等を道路上に静かに落とすことができる。それ以外でのポイ捨ては厳禁とする。
- 地上に落とされたものは他校選手分も回収に協力されたい。
- 上記に反するボトル、食料、包装紙などの廃棄には、3000円/件のペナルティーを科すものとする。

4. 無線通信装置の使用

- チームロードタイムトライアルは、競技者間・競技者と監督間の無線通信を、アマチュア無線機を除く日本国内で適法な無線機に限り、競技運営および安全性を損なわない範囲で認める。

5. ゼッケン・フレームプレートの取付け

- 本大会では、ゼッケン2枚+フレームプレートの着用を義務づける。
- ゼッケンは大会終了後、すみやかに大会本部に返却すること。
- 大会終了時に返却しなかった者および紛失は、ペナルティーの対象となる。
- フレームプレートは、フレーム前部中央につけることを原則とする。
- 中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、左側に寄せること。
- フレーム前部に取り付けること不可能な場合、シートピラーに取り付けることを認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかりと固定すること。

